

小児

コーナー

北病院 外来看護師
田川 美樹

新しいインフルエンザ 治療薬について



今年3月に新しいインフルエンザ治療薬『ゾフルーザ』が発売され、インフルエンザ治療に新たな選択肢が加わりました。

これまで使用してきたタミフル、リレンザ、イナビル、ラピアクタは、細胞内で増えたウイルスが細胞から外に出るのを防ぐのに対し、ゾフルーザは、細胞内でのウイルスそのものが増えないようにする働きがあります。

飲み方は、ゾフルーザを1回飲むことで完結し、利便性が高く、飲み忘れることも無くなります。服用量は体重によって異なりますが、体重が10kg以上で錠剤の飲める子どもなら使用できます。病院、診療所の先生とよく相談して使用する薬を決めましょう。

